

第18回日本高齢者虐待防止学会足立大会（オンライン開催）  
広告掲載・協賛金募集（ご依頼）

謹啓 時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、2022年9月10日（土）に第18回日本高齢者虐待防止学会足立大会を開催する運びとなりました。大会テーマは「高齢者虐待～多様化した要因と課題～ポストコロナ時代に変革の方向性を考える」です。

2022年の現在も新型コロナウイルス感染症により、全世界の人々が未曾有の経験をし、日本では、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出され、様々な生活制限の中で過ごすこととなり、大きな変化が生じました。高齢者においても様々な介護サービスの制限や施設においても面会制限等を余儀なくされました。しかし変化したのは生活だけではなく、人間関係、特に家族関係に大きな影響があり、それらの問題はなかなか顕在化せず深刻な状況となり、重篤事例として支援者が関わるが多くなっています。

2022年6月、未だに新型コロナウイルス感染が収束されたとはいえない状況です。これからは、ポストコロナ時代に相応しい高齢者虐待防止の方策を考えていく必要性があり、その体制づくりが喫緊の課題といえます。

本大会では、これらを踏まえ、多様化した高齢者虐待の要因と課題が見えてくる講演やシンポジウムを企画しました。参加者の皆様とともに新たな方策が考えられるような大会をめざしております。

現在、鋭意開催準備を進めております。会員の参加費等で大半を賄うようにしておりますが、大会の内容をより充実させるため、広く関係のある諸団体の皆さまのご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

つきましては、別紙要領で開催いたしますので、何卒ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆さま益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2022年6月吉日

第18回日本高齢者虐待防止学会 足立大会  
大会長 吉岡 幸子(帝京科学大学 看護学科 教授)

## 第18回日本高齢者虐待防止学会足立大会（オンライン）

### 開催要項

1. 会期 令和4年9月10日（土） 9:00～17:15
2. 会場 オンライン（Zoomを使用）
3. 大会長 吉岡 幸子（帝京科学大学看護学科教授）
4. 大会テーマ 「高齢者虐待～多様化している要因と課題～ポストコロナ時代に変革の方向性を考える」

#### 5. 開催趣旨と目的

日本では、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出され、様々な生活制限の中で過ごすこととなり、大きな変化が生じました。高齢者においても様々な介護サービスの制限や施設においても面会制限等を余儀なくされました。しかし変化したのは生活だけではなく、人間関係、特に家族関係に大きな影響があり、それらの問題はなかなか顕在化せず深刻な状況となり、重篤事例として支援者が関わることが多くなっています。

2022年5月、未だに新型コロナウイルス感染が収束されたとはいえない状況です。これからは、ポストコロナ時代に相応しい高齢者虐待防止の方策を考えていく必要性があり、その体制づくりが喫緊の課題といえます。

本大会では、これらを踏まえ、多様化した高齢者虐待の要因と課題が見えてくる講演やシンポジウムを企画しました。参加者の皆様とともに新たな方策が考えられるような大会をめざしております。

6. 大会規模 200名
7. 対象者 介護職員、看護師、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士、医療機関・高齢者施設・介護事業所関係者、行政書士、弁護士、行政職、警察、看護学・社会福祉学・法学・司法・医学関係の大学等の教員、報道関係ほか
8. 参加費

参加カテゴリー	参加費
会員	4,000円
非会員	5,000円
学生（大学院生含む）	2,000円

#### 9. プログラム（予定）

9:00～9:10 開会式

9:10～9:30 大会長講演 「高齢者虐待防止～現在と未来を見据えて私達のすべきこと」  
大会長 吉岡 幸子（帝京科学大学看護学科教授）  
座長 池田 直樹（日本高齢者虐待防止学会理事長、上本町総合法律事務所 弁護士）

9:40～10:40 教育講演1 「高齢者のアルコール依存症～治療の実践から」  
和気 浩三（医療法人和気会新生会病院院長 精神科医師）  
座長 吉岡 幸子（帝京科学大学看護学科教授）

- 10:50～11:40 基調講演 高齢者虐待の実態と課題  
 乙幡 美佐江（厚生労働省老健局高齢者虐待防止対策専門官）  
 座長 遠藤 英俊（日本高齢者虐待防止学会 副理事長、いのちフア  
 ミリークリニック 院長）
- 13:00～14:00 教育講演2 「介護殺人の予防を考えるー支援者が注目すべき視点とは」  
 湯原 悦子（日本福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科 教授）  
 座長 松下 年子（日本高齢者虐待防止学会 副理事長、横浜市立大学  
 名誉教授）
- 14:10～15:10 シンポジウム1 「高齢者虐待予防への新たな試み～施設と地域からの発信」  
 シンポジスト  
 中山 翔平（社会福祉法人練馬区社会福祉事業団富士見台デイサービ  
 スセンター所長・生活相談員）  
 渡辺 一郎（社会福祉法人全国社会福祉協議会 専門相談員）  
 座長 高橋 智子（公益財団法人東京都保健福祉財団 人材養成部福祉  
 人材養成室）
- 15:20～16:50 シンポジウム2 高齢者虐待防止法の改正に向けて （予定）  
 シンポジスト・座長：日本高齢者虐待防止学会 法制度推進委員会
- 17:00～17:15 閉会 閉会の挨拶

論文作成相談コーナー （研究活動・国際活動推進委員会委員会）

10. 後援 関係団体へ依頼予定
11. 協賛 依頼中
12. 大会実行委員会 第18回日本高齢者虐待防止学会足立大会 大会実行委員会  
 実行委員長 藤江慎二（帝京科学大学医療科学部 医療福祉学科  
 准教授）  
 〒120-0045 東京都足立区千住桜木 2-2-1  
 電話 03-6910-1010（代表）
13. 問い合わせ先 一般社団法人日本高齢者虐待防止学会 学会事務センター  
 〒338-0812 埼玉県さいたま市桜区神田 313-1 B105  
 電話 048-711-7144

**FAX 送信先 050-3737-4902**

送信日 令和 年 月 日

申込書

1. 協賛金 0,000 円 (1口 10,000 円) ※金額をご記載下さい

2. 抄録集広告掲載 ※へ (チェック) をご記入下さい

- 1頁広告 カラー 50,000 円
- 半頁広告 カラー 30,000 円
- バナー広告 50,000 円

施設名/企業名	
代表者(担当者)名	
電話番号	
F A X	
E - Mail	
住 所	〒
振込予定日	令和 年 月 日

※9月末日までにご精算をお願いいたします。